



# 国労敦賀第二地区分会

2022年 2月17日 No. 5

発行責任者 佐々木 康

編集責任者 川嶋 庄一

## 2022

# 春

## 闘

# 統一行動

敦賀地区



### 国労要求

- 6,000円ベースアップ!
- シニア社員労働条件の見直し!
- その他

### 行動内容

- 3月10日(木) 9:30 地区協集合
- 敦賀市内宣伝行動
- 昼食 敦賀第一・第二分会合同集会

### 小浜駅班から

3月ダイ改から小浜駅みどりの窓口が閉鎖される。代わりに「MVプラス」みどりの券売機が配置される。当面不慣れなお客様に管理係が案内する体制になるみたいだ。長年、小浜市の玄関として市民・観光客に親しまれた窓口が無くなるのが残念でならない。閉鎖とはいえマルスは設置したままで「団券」「イベント券」は発券可能だ。人減らし先にありきのコロナ合理化か? 利便性の低下を市民に周知してあるのか、混乱に対応するのは管理係であり、お叱りを受けるのも一般社員である。今次ダイ改、企業の社会的な責任が問われる…

### 界限

国交省が地方の鉄道路線の見直しを検討する会議を立ち上げた。

バス等他の交通機関への転換を促すといった方針をまとめる考えだ。▼「ちよっ、待てよ」その前に国鉄の分割・民営化の総括が先だ。あの時、ローカル線は無くならないと政府は約束していたはずだ。事業者の判断で赤字線区を切り捨て出来る鉄道事業法の規制緩和となったが、沿線住民にとっては一大事である▼都市部の儲けで地方路線を支えるのは最初からのスキームであり地域間の争いは無用の分断が生じる▼鉄道は駅や地域をつなぎ、何より人をつないできた。政府は不要不急のラインに国費を費やすのではなく、地方公共交通。鉄道を将来に亘って持続出来るよう力を尽していただきたい…。